

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：平成 18 ～ 21 年度

課題番号：18310158

研究課題名（和文）近代ユダヤ文化の学際的総合研究

研究課題名（英文） General Interdisciplinary Studies on Modern Jewish Culture

研究代表者

市川 裕（ICHIKAWA HIROSHI）

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号：20223084

研究成果の概要（和文）：近代ユダヤ文化を理解するに当たっては、各地の離散ユダヤ人社会の地域的多様性とラビ・ユダヤ教の伝統的枠組との両面から、しかも複数のデンプリンを組み合わせることによって、理解が格段に深まることが明らかになった。それとともに、ユダヤ文化の多様性の理解は、各地域における近代化の特徴を浮き彫りにするという意味で、ユダヤ研究の重要性が認識された。共同研究の成果としては、『ユダヤ人と国民国家』（岩波書店 2008）の出版があるが、各自の個別研究においても飛躍的な研究業績を積み重ねることができた。加えて、アジアにおける一神教研究の発展を見据えて、イスラエルのバルイラン大学との国際シンポジウムを実施した。

研究成果の概要（英文）：For the understanding of modern Jewish culture, we recognized that interdisciplinary researches should be done from the perspective of the cultural divergence of Diaspora Jews in different areas as well as with the view to the historical cohesion of the traditional Rabbinic Judaism. The cultural diversities of Diaspora Jews in different areas help us understand the different processes of modernization in host societies. In this sense the importance of Jewish studies goes beyond its own spheres. The publication of the book *Jews and the Nation States* from Iwanami Publishing Company in 2008 was one of our corporate research products and also each scholar has produced remarkable results in each discipline. In addition, considering the development of studies on monotheism in Asia, we held an international symposium with Bar-Ilan University in August 2010.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006 年度	4,200,000	1,260,000	5,460,000
2007 年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
2008 年度	3,500,000	1,050,000	4,550,000
2009 年度	2,800,000	840,000	3,640,000
2010 年度			
総計	14,400,000	4,320,000	18,720,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：地域研究・地域研究

キーワード：国民国家、市民権、アイデンティティ、同化、シオニズム、ディアスポラ、多様性、

1. 研究開始当初の背景

本研究は、市川裕を代表者とする科研としては 2 回目であり、前回の「ユダヤ人のアイデンティティ問題から見た近代国民国家の

理念と現実」の継続と位置づけられる。ユダヤ文化研究は、地域的多様性と複数の方法論との組み合わせが不可欠である点に鑑みて、分担者は前回と同様で 12 人として、適宜、

関連研究者を会合に招くことにした。

2. 研究の目的

ユダヤ人が各地の近代化を経過してどのようなアイデンティティを形成し、当該社会とどのような関係を結ぶかという問題を、西欧・東欧・中東の事情を比較検討して、近代の意味を探求すること。

3. 研究の方法

各自の個別分野・方法論における研究を研究合宿において発表し討論を重ねることによって互いの理解を深めるという方法によった。地域は上記の3地域、また方法では、歴史学、思想史、宗教学、文学、地域研究、政治学、社会学に及んだ。

4. 研究成果

『ユダヤ人と国民国家—政教分離を再考する—』市川裕、臼杵陽、大塚和夫、手島勲矢編、岩波書店、2008、全352頁。

共同研究の成果としては、上記書籍が出版されたほか、シンポジウム報告書『Monotheism in Asia』を作成した。

また、分担者は、各自の専門領域において精力的に業績を上げ、この5年間で、ユダヤ研究における飛躍的な研究の進展を見ることができたと思う。出版されたその代表的な成果を、研究者別に整理して示せば、以下のようになる。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

<雑誌論文>

(1) 羽田 功「古きものと新しきもの—聖金曜日のユダヤ人のための代願—」(慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』48号、2011年刊行予定[印刷中]) 査読有

(2) 池田 明史「『現代の中東』と中東和平プロセス」、現代の中東 第48号、pp2-9、アジア経済研究所、2010年。査読有

(3) 野村 真理「1941年リーガのユダヤ人とラトヴィア人—ラトヴィア人のホロコースト協力をめぐって」(前編)『金沢大学経済論集』第30巻第1号、2009年219~246ページ。査読有

(4) 長田 浩彰「ナチ体制下のある『ユダヤ人キリスト教徒』の手記—ゴルトマン・ノートに見る人種観と愛国心」『ユダヤ・イスラエル研究』23(2009年)、46-54頁、査読有

(5) 奥山 眞知「シオニズムを支える意識」『インパクション』165号、2008年、86-101頁。査読無

(6) 臼杵 陽“An Aspect of Middle Eastern and Islamic Studies in Wartime Japan: A Case of Hajime Kobayashi (1904-1963)”, *AJAMES (Annals of the Japan Association for Middle East Studies)*, Vol.23-2, 2008、査読有

(7) 村田 靖子「スファラディームの失われた時を求めて」—A. B. Yehoshua の『マニ家の男たち』論第一部—イスラエル・ユダヤ研究(日本ユダヤ学会編)22号、2007、29-39頁。査読有

(8) 長田 浩彰「ある『ユダヤ人キリスト教徒』の非ナチ化—エルヴィン・ゴルトマンの事例(1947-1951)—」『西洋史学』225(2007年)、23-45頁。査読有

(9) 高木 久夫「信仰と哲学の分離：マイモニデス、エリヤ・デルメディゴ、スピノザ」『スピノザーナ』第8号、スピノザ協会(2007年) pp.21-42。査読有

(10) 高木 久夫「真偽の指標と善悪の指標：中世の『メフルサモット』理解とスピノザ」『ユダヤ・イスラエル研究』第22号、日本ユダヤ学会(2007年) pp.22-28。査読有

(11) 市川 裕「レヴィナスにおけるタルムード研究の意義」『レヴィナス—ヘブライズムとヘレニズム—』哲学会編、哲学雑誌第121巻793号、有斐閣、1-19頁。2006。依頼論文査読無

<図書>

(1) 村田 靖子(翻訳・解説)アモス・オズ『わたしたちが正しい場所に花は咲かない』、大月書店、2010年3月。査読無

(2) 市川 裕『ユダヤ教の歴史』山川出版社、本文280頁、付録65頁。2009年。査読無

(3) 沼野 充義(編著書)『芸術は何を超えていくのか?』東信堂、2009年3月刊、200ページ(全体の編集および序章の執筆) 査読無

(4) 奥山 眞知「ミズラヒム・ユダヤ人—移動および移住者のその後—」駒井洋・江成幸編『グローバル・ディアスポラ』第四巻 明石書店、2009年、196-212頁、査読無

(5) 池田 明史「アラブ対イスラエル」、増田弘監修『なぜ世界で紛争が無くならないのか』、

pp15-46、講談社+α新書、2009年。査読無

(6) 臼杵 陽『イスラエル』岩波新書 1182、岩波書店、2009年、xiv頁+230頁+8頁。査読無

(7) 臼杵 陽「『方法としてのディアスポラ』の可能性」臼杵陽監修、赤尾光春・早尾貴紀編『ディアスポラから世界を読む—離散を架橋するために』明石書店、2009年、18~35頁。査読無

(8) 手島 勲矢・『ユダヤの聖書解釈：スピノザと歴史批判の展開』岩波書店、2009年全372頁、査読無。

(9) 徳永 恂『現代思想の断層：「神なき時代」の模索』、岩波新書、2009 査読無

(10) 市川 裕『宗教史とは何か 上巻』(宗教学論叢13)、市川裕、渡辺和子、松村一男編、リトン(分担執筆「ギリシアとの相克としてのユダヤ教史」151-177頁)、2008. 査読無

(11) 野村 真理『ガリツィアのユダヤ人—ポーランド人とウクライナ人のはざままで』人文書院、2008年。270ページ。査読無

(12) 野村 真理「二つの顔を持つ国—第二次世界大戦後オーストリアの歴史認識とユダヤ人犠牲者補償問題」弁納オー・鶴園裕編『東アジア共生の歴史的基礎』御茶の水書房、2008年、293-336頁。査読無

(13) 池田 明史「イスラエルの社会福祉」、世界の社会福祉年鑑 2008年版、旬報社、2008年、査読無

(14) 手島 勲矢「ハンチントンの『文明の衝突』を読む：ユダヤ学と文明論の間で考える「共存」を妨げるもの」『ユダヤ教・キリスト教・イスラームは共存できるか』(森 孝一編)明石書店、2008年220-242頁。査読無

(15) 高尾 千津子「内なる境界—ロシアユダヤ人の地理空間」、松里公孝監修『講座スラブ・ユーラシア学第3巻 ユーラシア帝国の大陸』講談社、2008年、pp.209-239。査読無

(16) 沼野 充義 “Is there such a thing as Central (Eastern) European Literature? An Attempt to reconsider ‘Central European’ Consciousness on the Basis of Contemporary Literature”. *HAYASHI Tadayuki and FUKUDA Hiroshi, eds., Regions in Central Europe: Past and Present.* Slavic Research Center, Hokkaido University, 2007, pp.121-134. 査読有

(16) 高尾 千津子『ソ連農業集団化の原点—ソヴィエト体制とアメリカユダヤ人』彩流社、2006年11月(全332頁) 査読無

[雑誌論文] (計19件)

[学会発表] (計50件)

[図書] (計20件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

市川 裕 (ICHIKAWA HIROSHI)

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号: 20223084

ユダヤ教の近代の葛藤から世界史の流れを把握

(2) 研究分担者

沼野 充義 (NUMANO MITSUYOSHI)

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号: 40180690

東欧近代文学におけるユダヤ人の位置と役割

村田 靖子 (MURATA YASUKO)

東邦大学・薬学部・教授
研究者番号：90200302
現代イスラエルの国民文学の特徴の把握

野村 真理 (NOMURA MARI)
金沢大学・経済学部・教授
研究者番号：20164741
近代東欧の諸民族とユダヤ人との関係史

奥山 眞知 (OKUYAMA MACHI)
常磐大学・人間科学部・教授
研究者番号：60152443
現代イスラエル社会階層の社会学的分析

羽田 功 (HADA ISAO)
慶應義塾大学・経済学部・教授
研究者番号：10146566

臼杵 陽 (USUKI AKIRA)
日本女子大学・文学部・教授
研究者番号：40203525
イスラエルの現代政治と地域研究

池田 明史 (IKEDA AKIFUMI)
東洋英和女学院大学・国際社会学部・教授
研究者番号：30298294
イスラエルの国際関係と国内事情の相関

手島 勲矢 (TESHIMA IZAYA)
元同志社大学・神学部・教授
研究者番号：80330140
ユダヤの視点からの聖書解釈史と現代思想

長田 浩彰 (NAGATA HIROAKI)
広島大学・大学院総合科学研究科・准教授
研究者番号：40228028
ナチ時代のキリスト教徒との通婚者の軌跡と境遇

高尾 千津子 (TAKAO CHIZUKO)
立教大学・文学部・教授
研究者番号：00247264
近代ロシアとユダヤ人の関係の歴史的分析

高木 久夫 (TAKAGI HISAO)
明治学院大学・教養教育センター・准教授
研究者番号：90510496
スピノザをユダヤ思想の脈絡に位置づける作業。

(3) 連携研究者

徳永 洵 (TOKUNAGA MAKOTO)
大阪国際大学法政経学部名誉教授

研究者番号：70027952
近代ドイツ・ユダヤ思想の展開と葛藤

